

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年3月3日（月）

### 2 確認箇所

1号機タービン建屋

### 3 確認項目

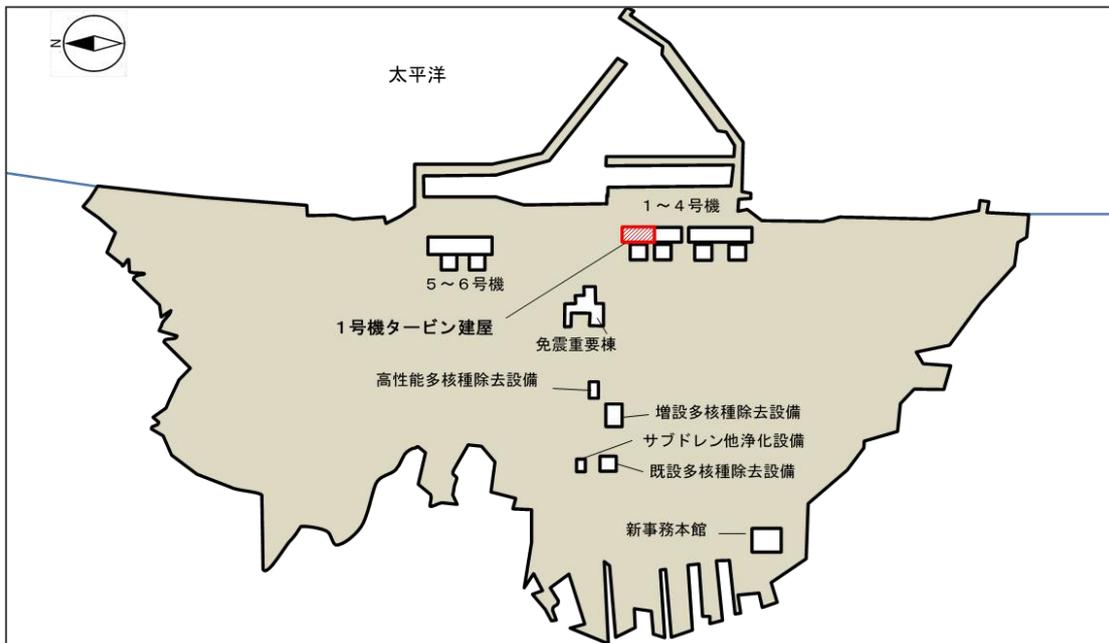
1号機原子炉格納容器(PCV)ガス管理設備の現況

### 4 確認結果の概要

原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内は、窒素封入設備により窒素ガスで満たされ、さらに周囲から空気が内部に流入しないように正圧に保たれている。また、PCVガス管理設備により、放射性ダストを除去するフィルタを通して排気するとともに、PCV内部の水素濃度、放射性希ガス濃度等を常時監視している。

本日は、1号機PCVガス管理設備の現況を確認した。（前回確認日：令和6年4月18日）

- ・現場確認時に、水素・酸素計の保守作業が実施されており、東京電力の社員が作業に立ち会い、手順を確認しながら進めていた。（写真1）
- ・PCVガス管理設備には、PCVから抽気するための排気ファンが2系統（A・B系統）設置されており、現場確認時は、B系が稼働していた。ファンには、重要設備であることを示す表示が貼付されていた。確認した範囲では、異常な振動や異音などの異常は認められなかった。（写真2）
- ・その他、放射性物質を除去するためのフィルタユニット及び、抽気したガス中の放射性物質を連続監視するためのダストモニタを確認したが、異常は認められなかった。（写真3）
- ・監視装置や電源設備などの重要な設備は、施錠されたハウス内に設置されており、不用意に人が立ち入れないよう管理されていた。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
水素・酸素計の保守作業の状況



(写真2)  
排気ファンの設置状況



(写真3-1)  
フィルタユニットの設置状況



(写真3-2)  
連続ダストモニタの設置状況



(写真4)  
電源室の設置状況  
※入口扉は施錠されている

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。